



編集

今回の「今、輝いているあなたにクリック」は、津市高茶屋の地域総合ケアセンターシルバークア豊壽園にあります津特別養護老人ホームシルバークア豊壽園及び津介護老人保健施設シルバークア豊壽園より、各事業相談グループの中島統括リーダー、山本さん、阪本さん、丸野さんの4名です。よろしくお願いします。

編集

管理栄養士を目指そうとした動機やきっかけは？

中島

あまりにも昔のことで… 記憶をたどると…幼少期より、自分で野菜や花を育てて、収穫したものを、料理して家族に食べてもらったり、飾ったりということが好きだったので、食に携わる職に就きたかった。資格を取りたかった。それなら管理栄養士と思い目指しました。保育士にもなりたかったのですが、最終的には管理栄養士を選択しました。

山本

自分が作った料理やおやつを喜んで食べてくれることが好きだったからだと思います。けど、1番は自分自身食べることが好きだからだと思います！

阪本

父が糖尿病になり、母が料理に困っている姿を見て栄養士という仕事に興味を持ちました。また、高校時代硬式野球部のマネージャーをしていました。その時に管理栄養士さんが栄養指導に来てくださり、カッコいいなと思ったことがきっかけです。

丸野

「食」は生きていく上で1番大切だと思っています。そのため、栄養について知識があれば身近な人や自分自身の生活に役立てると思ったことが、管理栄養士を目指したきっかけです。とは言っても、単純に食べることが好きで「食」に興味があったからです。

編集

洗心福祉会を選んだ理由は？

中島

地元津市に介護施設が新設されるため栄養士を募集していると知人を通じて紹介して頂き、応募しました。

山本

大学の実習でお世話になり、楽しかった！という印象が強かったからです。きっとその時の職員さんが明るく、優しく接してくれたからだと思います。



阪本

小さなころから誰かのためになる仕事をしたい、人と関わる仕事がしたいと思っていました。就職活動中にお世話になっていた進路指導の先生に「地元(津市)で管理栄養士を募集しているところがある、あなたにぴったりだと思う」と教えて頂き説明会を受け、地元で恩返ししたいと思い選びました。

丸野

管理栄養士は個人職が多いですが、洗心福祉会には先輩栄養士さんがたくさんいらっしゃり、先輩方からいろんなことを学んでいけると感じたからです。

編集

管理栄養士としてのやりがいとは？

中島

ご利用者との会話を楽しんだり、笑顔にふれたとき。それと多職種の職員とご利用者の対応について話し合っ実践しているときやイベントを企画実践しているときです。

山本

病気のことでないため、ご利用者の嗜好やこれまでの食習慣などいろんなことを踏まえてご利用者にとって1番良い食事は何かを考えるようにしています。考えた結果、食べる量に改善がみられたり、食事を楽しんでもらうことに繋がると嬉しいです。また、ご利用者の笑顔が何よりもやりがいに繋がっています。

阪本

食事を楽しみにして頂いている方が多く、「おいしい、ありがとう」と笑顔で言ってくれます。食事を通してご利用者との関わりを持ち、その方の特徴などを深く知っていけることです。

丸野

ご利用者と一緒におやつ作りや行事を行った際に見せてくださる笑顔や、「美味しいわ」「おかわり欲しい～」などのお声が聞けたときにやりがいを感じます。

編集

プライベートの過ごし方は？

中島

つまみをたくさん作って、家族で飲み明かすのがたのしみです。

山本

出かけることが好きなので、美味しいものを食べに行ったり、買い物に行ったりすることが多いです。また最近は新型コロナウイルス感染症の制限も緩和されてきて、旅行に行くことも楽しみのひとつです。

阪本

野球が好きなのでテレビで見たり、現地に観戦しに行ったりします。食べることも好きなので美味しいものもよく食べに行きます。

丸野

友人とカフェや買い物に行くなどにかく家から出ます。今年度から三重県に来たので、三重県開拓をしていきたいです。

編集

これからの管理栄養士としての抱負は？

中島

現在当法人には、栄養士・管理栄養士総勢12名在籍しています。皆、私よりも知識を持っており優れた精鋭ぞろいで安泰です。そんな中で、私は今まで経験してきたことを踏まえ、接遇や提案力を法人の栄養士へ伝えていきたいと思います。また、多様化するサービスに対応できるよう視野を広く持って、法人の売りとなるサービスを開発提案していきたいです。

山本

いろんなアイデアを提案できる管理栄養士になりたいです。これからもご利用者様に楽しんでもいただける食事や行事を考えられるよう頑張ります。

阪本

日々の業務で学びを深めていき、管理栄養士としても人間としてもスキルアップしていきたいと思っています。

丸野

管理栄養士としてまだまだ未熟なため多職種のいろんな方の視点から意見を頂戴し、自分なりに管理栄養士として成長していきたいです。また、毎日少しでも多くのご利用者の笑顔が見られるよう関係性を築いていきたいです。

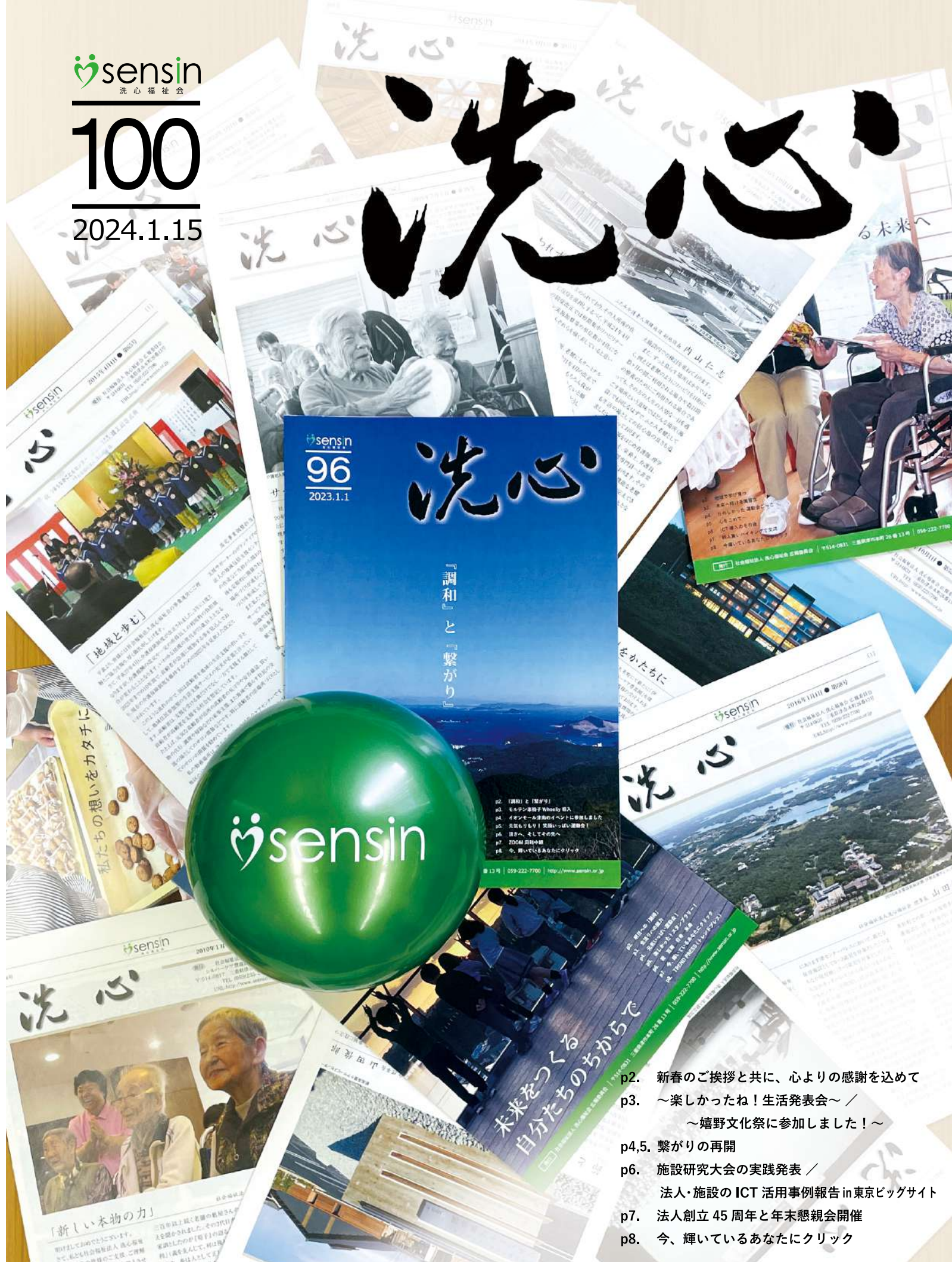
編集

本日はお話を聞かせていただき、ありがとうございました。



100

2024.1.15



発行

社会福祉法人 洗心福祉会 広報委員会 | 〒514-0831 三重県津市本町 26 番 13 号 | 059-222-7700 | <http://www.sensin.or.jp>

法人理念

- 1 当法人は、公器として地域社会に貢献する。
- 2 当法人は、事業を通じ安心と健康をモットーに、夢と希望を創造する。
- 3 当法人は、未来発展を目指し、人々の生活と社会の変化に常に誠意を持って前向きに取り組む。

社会福祉法人洗心福祉会の令和5年度理事会が11月8日（水）に洗心福祉会本町総合事務所5階会議室にて開催されました。理事会では理事6名と監事2名が出席され、運営規程の一部を改正する規程等についてや令和5年度社会福祉法人洗心福祉会 会計補正予算第1号について、令和5年度業務執行理事の職務執行状況報告などの議案及び報告案件について厳正に審査され、それぞれ原案どおりに可決されました。概要については、社会福祉法人洗心福祉会本町総合事務所3階ロビー掲示板に掲示を、またその内容については膨大なため、同事務所総務課にて閲覧が出来ますので、担当職員までお申下さい。

社会福祉法人 洗心福祉会からの お知らせ

- p2. 新春のご挨拶と共に、心よりの感謝を込めて
p3. ～楽しかったね！生活発表会～／
～嬉野文化祭に参加しました！～

p4.5. 繋がり再開

p6. 施設研究大会の実践発表／
法人・施設の ICT 活用事例報告 in 東京ビッグサイト

p7. 法人創立 45 周年と年末懇親会開催

p8. 今、輝いているあなたにクリック

新春のご挨拶と共に、 心よりの感謝を込めて

社会福祉法人洗心福祉会

理事長 山田 純大

新年あけましておめでとうございます。
新しい年を迎えるにあたり、ご利用者及びご家族の皆様には、幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年は法人創立から 45 年という節目を無事に迎えることができ、改めて皆様に深く感謝を申し上げます。

まずは、このたびの令和 6 年能登半島地震により犠牲となられた方々にお悔み申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域のみなさまの一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、私たちは、地域社会への貢献をモットーに、創立当初から現在に至るまで、変わらぬ理念と情熱を持ち続け、多くの皆様のご支援を賜りながら歩みを続けてまいりました。

地域における社会福祉の一翼を担い、

さまざまなニーズや社会課題に対し、これからもより多くの皆様の希望と幸せに繋がる取り組みを実践していけるよう邁進してまいります。

また職員の皆様は、「調和と繋がり」という方針を掲げ、事業運営に取り組んできております。その活躍に感謝し、事業継続するための最大の原動力である、職員一人ひとりの情熱と実践により、これからも共に成長し、良い未来を切り拓いていけることと信じています。

令和 6 年におきましては、医療及び介護、障がいの 3 つのサービスの制度が見直されるトリプル改正の年となります。

社会保障費と国債費の合計が国の歳出の半分以上を占める現状から、各報酬改定に向けた厳しい議論が展開され、各制度改正においても、基準や加算、新たなサービスの創設など、様々な事項が見

直されることになります。

地域包括ケアシステムの推進に向けた医療・介護・障がいサービスの連携、高齢者施設・障がい者施設での医療の役割、認知症ケア及びリハビリテーション・口腔・栄養の在り方などが大きく注目されています。

私たちはこうした制度改革を見据え、地域の様々な福祉ニーズにこれまで以上にお応えできるよう、これからも事業の充実と地域における様々な取り組みを実践していく必要があると考えます。

最後に、先行きが不透明で、予測が困難な時代において、私たちは新たな一歩を着実に踏み出し続け、これからもますます充実した事業運営と地域に貢献することを実践していく所存です。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



第二はなこま保育園

～楽しかったね！生活発表会～

12 月に 5 歳児きりん組、4 歳児ぞう組の生活発表会を行いました。

クラス別での開催でゆったりとした雰囲気の中、たくさんの観客に少し緊張する子や、観客席に笑顔で手を振る子など、いろんな表情を見せてくれました。

劇遊び、オペレッタ、合奏、合唱、お遊戯など元気いっぱい大きな声を出して楽しみました。

新型コロナウイルス感染症の制限もなくなり、たくさんの方々に見ていただき子どもたちも楽しい思い出になりました。



嬉野保育園

～嬉野文化祭に参加しました！～

10 月に嬉野ふるさと会館で『嬉野文化祭』が行われました。ステージ発表があり、5 歳児ちょうちょ組の子どもたちが、地域の踊り「鈴踊り」と運動会で踊った「火炎太鼓」を披露しました。控室では「緊張する～」との言葉も聞かれましたが、出番が近づき、舞台袖へ移動すると「まだかな～」「早く踊りたい！」と待ちきれない様子の子どもたち。

さすが 5 歳児！いざ舞台にあがっても、たくさんのお客さんを前に、堂々とした姿で元気にいっぱい、楽しそうに踊る姿が見られました。運動会とはまた一味違って、照明に照らされながら踊る姿は、とてもかっこよくキラキラしていました！



繋がりの再開

当法人には、社会福祉法人洗心福祉会に勤務する職員間の交流、親睦を図るとともに、福利厚生を図ることを目的とした『豊和会』を組織しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ数年については規模を縮小しての交流会でした。その後、令和5年5月より新型コロナウイルス感染症がⅡ類からⅤ類に見直され、また全国的な感染状況も一定の落ち着きがみられたことから、令和5年度より「宿泊旅行」「日帰り旅行」を再開する運びとなりました。

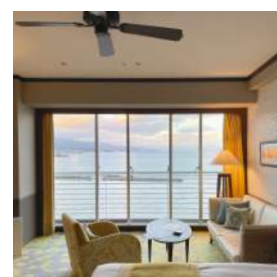


日帰り旅行では、『NEMU RESORT HOTEL』『ホテル花水木』、宿泊旅行では『NEMU RESORT HOTEL』『琵琶湖ホテル』の4つの旅行プランを計画し、各拠点の多くの職員の皆様にご参加いただきました。

コロナ禍により拠点間の行き来が制限されていたことから、職員の皆様にとって久方ぶりの再会もあったのではないのでしょうか。まさに豊和会の大きな醍醐味であり、今後の事業運営にもきっと繋がるはずです。

豊和会では他にも、各拠点を会場に食事会やボーリング、ブドウ・イチゴ狩りなども再開し、それぞれ多くの交流の機会を図ることができました。

これからも豊和会は、職員間の繋がりを大切に様々な取り組みを実践していきたいと思います。



施設研究大会の実践発表

令和5年10月17日(土)・18日(日)に、愛知県産業労働センター(ウインクあいち)にて東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会が開催されました。(コロナ禍の危機を乗り越える! Resilience「弾力」「回復力」「立ち直り力」心の強さ!)というテーマで、初日には講演等の全体会、2日目は各法人の様々な取り組みに関する実践発表が行われました。

多くのテーマで展開された分科会ですが、当法人もその実践研究の発表者として登壇に立たせていただきました。

伊賀市で運営する伊賀シルバーケア豊壽園がこれまで取り組んでまいりました三重県立伊賀白鳳高等学校との繋がりに関するもので、『コロナ禍における人材確保へ向けてのResilienceについて』という議題で発表を行いました。介護福祉の専門コースのある高等学校とのこれまでの関わり、リモートを活用した交流など様々な取り組み事例を発表しています。

当日の会場には100名超の人が集まり、他の都道府県や他施設の福祉に携わる多くの方々との意見交換や交流を図ることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。



福祉用具

法人・施設の ICT 活用事例報告 in 東京ビッグサイト

令和5年9月27日～29日にH.C.R2023が第50回国際福祉機器展&フォーラムが東京ビッグサイトで開催され、「法人・施設のICT活用事例報告」として洗心福祉会福祉用具貸与・販売事業の取り組みについて全国発表を行いました。

SKU(単品管理手法)を福祉用具事業の管理に応用した「zaico」アプリを活用した取り組みです。

このシステムは、「いまの在庫がわかる もつべき在庫が見えてくる」をテーマに、物品の数量・保管場所・状態・物品の画像など、様々な情報が登録できます。仕入れや納品の記録もネット上で可能となり、更新の手間が省けるだけでなく、事業所間(しま福祉用具貸与・販売事業)での共有も大幅に簡素化できます。将来的に法人内の物品管理業務にも活用できるものと考えます。

会場は満席、立ち見が出るほどの盛況さで、関係者の関心の高さが窺えました。



法人創立 45 周年と年末懇親会開催

令和5年12月22日(金)、法人恒例の年末懇親会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の拡大と蔓延防止の観点から、これまで各拠点を会場とした年末懇親会については、リモートによる同時中継による開催で実施してまいりました。

令和5年に5月より新型コロナウイルス感染症がII類からV類に見直されましたが、依然感染症の余波やインフルエンザの流行等感染症対策が必要なことには変わりません、

そのような中、年末懇親会の開催でしたが、法人創立45周年を迎えたこと、また法人が掲げる事業の運営のテーマが「調和と繋がり」であることも踏まえ、今回リモートによる同時中継による開催となりました。

法人本部を含め、各保育園や高齢者施設等約25か所の拠点と同時中継を行い、モニター上からでありましたが、参加者全員が同時に顔を合わせる場となりました。

年末懇親会では、当法人の理事長の挨拶からはじまり、創立45周年を記念した「法人の軌跡を振り返る」MOVIEを上映しました。また法人に長きに亘り勤続し、貢献いただいた職員の皆様に対する感謝の気持ちとして、永年勤続表彰と感謝状の授与、そして参加者全員を対象とした「大抽選会」など、この日多くの職員の皆様と共に一体となり、楽しい時間を過ごすことができました。

最後に、令和6年については各拠点での開催を熱望するとともに、また改めて皆様とお会いできますことを心待ちにしております。

